

公開シンポジウム
「神経科学領域の倫理的課題」
の開催について

1. 主催：日本学術会議基礎医学委員会 神経科学分科会
同臨床医学委員会 脳とこころ分科会
同臨床医学委員会 再生医療分科会
2. 共催：未定
3. 後援：日本脳科学関連学会連合
4. 日時：令和4年 8月27日（土）：13:00～17:00
5. 場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）
6. 分科会等の開催：未定

7. 開催趣旨：脳科学の発展に伴い、様々な倫理的課題が無視できない状況になっている。基礎的な研究においても、ヒトの心の在り方を「読み取る」技術や「操作する」技術が開発され、また再生医学の発展に伴い、神経幹細胞や神経組織を「創り出す」技術も発展を遂げている。そしてそれらも含めてより介入的な方法で精神神経疾患を「治療する」時代が訪れようとしている。このような動向は、これまで難治性とされていた精神神経疾患で苦しむ患者や家族にとって朗報でありつつも、「心の在り方」を変容させてしまう懸念を伴っている。このような状況における倫理的課題について立場を超えて議論し、社会的合意を醸成する場としたい。

8. 次第：

挨拶

13:00 開会挨拶

伊佐 正（日本学術会議第二部会員、京都大学医学研究科教授）

◇第一部講演 総合司会

伊佐 正（日本学術会議第二部会員、京都大学医学研究科教授）

第1セッション「神経科学研究における倫理的課題」

13:10 『ヒト脳機能イメージング研究における倫理的課題』（仮題）

定藤 規弘（日本学術会議連携会員、自然科学研究機構生理学研究所教授）（確定）

13:30 『脳オルガノイド研究における倫理的課題』

澤井 努（広島大学准教授＝4月より異動予定）（確定）

第2セッション「精神神経疾患の臨床における介入治療に関する倫理的課題」

13:50 『ニューロフィードバック治療における倫理的課題』（仮題）

川人光男（日本学術会議第二部会員、国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所所長）（確定）

14:10 『当事者から見た神経倫理』（仮題）

熊谷晋一郎（日本学術会議連携会員、東京大学先端科学技術センター）（確定）

休憩（20分）（14：30～14：50）

第3セッション「再生医学分野における倫理的課題」

14:50 『脊髄損傷治療における神経倫理』（仮題）

岡野栄之（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学医学部教授）（確定）

15:10 『網膜疾患治療における神経倫理』（仮題）

高橋政代（ビジョンケア）（確定）

第4セッション「社会から俯瞰した神経倫理」

15:30 『医療人類学からみた神経倫理』

北中淳子（慶應義塾大学文学部教授）（確定）

休憩（20分）（15：30～15：50）

◇第二部講演 総合司会

高橋良輔（日本学術会議連携会員、京都大学医学研究科教授）

15:50 パネリスト：上記講演者に加えて

佐倉統（日本学術会議連携会員、東京大学大学院情報学環）（確定）

高橋真理子（ジャーナリスト、元朝日新聞科学コーディネーター）（確定）

藤田みさお（京都大学 iPS 細胞研究所、ヒト生物学高等研究拠点）（確定）

村井俊哉（京都大学医学研究科）（確定）

貴島晴彦（大阪大学医学系研究科）（確定）

16:50 閉会挨拶

高橋良輔（日本学術会議連携会員、京都大学医学研究科教授）

（下線の講演者等は、主催委員会（分科会）委員）